

支援チームの継続的支援により、雇用環境を改善

雇用・労務

経営改善・診断



社会保険労務士と相談している様子

経営概要

〇氏

◆代表者・所在地

〇氏 福岡県田川郡福智町

◆経営規模

水稻 3ha、麦 40.5ha、大豆24ha

◆従業員数

常時雇用3名

◆事業内容

地域の担い手として、土地利用型経営に取り組む。

1 現状と相談までの経緯

地域の担い手として、土地利用型経営に取り組み、水稻、麦、大豆を経営している。

現在、3名の常時雇用をしているが、雇用する際の労務管理等について、知識が十分でなく、今後も雇用を続けていくために、雇用環境整備について学びたいと日常的に付き合いのある普及指導員に相談したところ、農業経営・就農支援センターを紹介された。

2 相談内容

家族以外に3名を常時雇用しているが、幹部となる人材の育成が課題であり、雇用環境整備等も必要であるため、人材育成、労務管理の基礎知識、雇用契約書や就業規則作成の注意点について助言を受けたい。

3 支援内容

■支援チームによる支援計画の策定

サテライト窓口である普及指導センターの経営分析を踏まえ、人材育成を視野に入れた雇用環境の整備に向けて専門家の支援が必要であると判断し、経営戦略会議において社会保険労務士の派遣を決定した。

社会保険労務士、普及指導員、町職員による支援チームを編成した。

■専門家派遣を通じた助言の実施

支援チームにおいて、労務管理の基礎知識の習得に関する支援を実施した。

社会保険労務士の派遣後も、経営主と今後の方向性の確認を行い、雇用環境の整備を進めている。

・雇用契約書、就業規則作成における助言（社会保険労務士）

雇用契約書・就業規則作成における経営主の注意点に関する助言を行った。

・専門家派遣前後のフォローアップ（普及指導員）

専門家からの助言をいかした人材育成の在り方や書類作成の助言を行った。

支援チーム構成員：

社会保険労務士、普及指導員、町職員

■ 支援を受けて・・・

現状の雇用環境の整理と社会保険労務士の助言により、経営主の労務管理と人材育成への意識・理解が高まった。

経営主と従業員との間で労働条件に係る情報を共有し、雇用契約書や就業規則を作成することができた。

■ 今後の経営展開

今後、法人化を検討しており、次年度協議に入ることを確認し、人材確保の手段の一つとして、新たに農福連携の取組を検討している。

さらなる人材確保・育成にむけて、研修会への参加や視察等に積極的に取り組んでいきたい。



新たな労働力確保に向け農福コーディネーターと地図アプリで作業するほ場を確認している様子

喜びの声

農業経営・就農支援センターから派遣された専門家や普及指導センター職員のフォローアップのおかげで、労務管理の基礎知識の習得や人材育成について深く学ぶことができました。

今後は、法人化を検討しており、魅力ある農業経営ができるよう、経営者として日々勉強し成長していきたいと思えます。

専属スタッフ所感

雇用環境整備に向けて、専門家の助言も得ながら支援しました。労務管理に対する意識醸成がなされ、就業規則も整備されました。

今後とも人材育成、経営発展に向けた、伴走支援が望まれます。

<支援機関> 福岡県農業経営・就農支援センター

組織概要

■ 相談窓口

【経営相談】

住 所：福岡県福岡市博多区東公園 7 番号
福岡県庁 5 階 農林水産部

電話番号：092-643-3494

まずはお近くの[サテライト窓口](#)まで

受付時間：月曜日～金曜日（年末年始・祝日を除く）
8：30～17：15

【就農相談】

住 所：福岡県福岡市中央区天神 4-10-12
J A 福岡県会館 2 階

公益財団法人 福岡県農業振興推進機構

電話番号：092-716-8355

まずはお近くの[サテライト窓口](#)まで

受付時間：月曜日～金曜日（年末年始・祝日を除く）
8：30～17：00



県内のサテライト窓口（普及指導センター）配置図

サテライト窓口（県内 10 か所の普及指導センター）や関係機関・団体と連携を図りながら、農業の担い手育成、確保に向けた支援を行っています。